

編集後記

昨年同様、春の扉が開く時期に一宮研伸大学の紀要をお届けできますことに、投稿者のみなさんをはじめご尽力いただいた方々に心より感謝いたします。2回目の発行となりました今回は、総説2編、教育実践報告1編、その他3編という構成となり、この地域で長く看護職の養成に関わってき本学の活動を知っていただけるものになったのではないかと考えています。

巻頭言をいただいた安藤図書館長が触れておられるように、2023年4月に人学院修士課程が開設される本学は、看護の学術的発展と看護教育の進歩・発展に寄与するための新たな一步を踏み出します。本紀要も、学生や若い研究者が研究論文に取り組む機会を提供する場としてその役割を担えるよう、引き続き努めてまいりたいと考えています。

最後に、投稿者のみなさんをはじめ、ご多忙の中快く査読をお引き受けいただいたうえに丁寧な助言を頂戴した先生方に改めてお礼を申し上げて、第2巻の編集後記とさせていただきます。

(梶山委都子)

論集編集委員会

梶山委都子（委員長）

下平 唯子

肥田 武

黒木 香林